

最新の環境配慮型エコキャンパスは

みなさんの健康にも配慮した安心キャンパスです

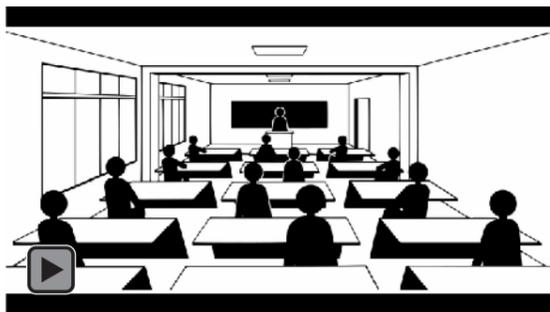
愛知学院大学名城公園キャンパスは、最新の技術を駆使してみなさんの健康面もサポートしています。本キャンパスでは、これらの設備と取組みで新型コロナウイルス感染症からみなさんの健康と安心を守ります。

安心その1 最新の機械換気システム

名城公園キャンパスの校舎は、最新の機械換気システムにより1時間あたり5回程度、すべての室内の換気をおこなっています。これは、一般的な病院の病室に近いレベルの換気量となっています。

この機械換気システムは、無風時や窓を閉めざるをえない悪天候時に換気が不十分となる自然換気と比べ、室内の快適性を維持したまま、安定的に新鮮な空気の循環をおこなうことができます。

動画を再生します



参考：室の用途別換気回数（回/h）

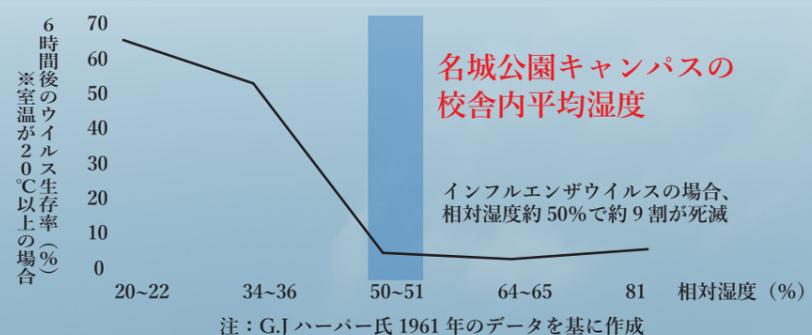
住宅の居室	2～3	病院の病室	6
事務所の事務室	3～6	名城公園キャンパス	5

注：米国疾病予防管理センターおよび世界保健機関では、新型コロナウイルス感染症に対する「隔離施設等の換気等の基準」を「換気回数が毎時6回（既存の建物）を上回る（一部抜粋）」としています

安心その2 徹底した湿度管理システム

名城公園キャンパスの校舎は、徹底した湿度管理により年間を通して50%程度の湿度に保っています。一般的にウイルスは湿気に弱いとされていますが、この湿度管理システムにより冬季の冷たく乾燥した外気や夏季の酷暑においても、安定した湿度に守られながら快適な室内環境ですごしていただくことができます。

参考：多湿に弱いインフルエンザウイルス



安心その3 入館時の手指消毒

名城公園キャンパスでは、各出入口にアルコール消毒液を配置し手指の消毒を徹底しています。

また、清掃回数を増やし机や扉、トイレなど感染リスクの高いとおもわれる部分もしっかりとアルコール清掃しています。

愛知学院大学名城公園キャンパスでは
これらをはじめ様々な対策で「学びの継続」を守ります